



KATSUMASA CHIYO

千代 勝正

(レーシングドライバー / 28歳)

日本人初の世界ツーリングカーレース “シリーズチャンピオン”

日本国内で各カテゴリにおいて着実に実績を重ね、2014年からは国内のみならず、海外でのツーリングレースへの挑戦を開始。欧州でシリーズ開催している「Blancpain Endurance Series」に、2014年より「NISSAN GT Academy Team RJN」のドライバーとして参戦し、その経験が本年の目覚ましい活躍へと繋がる。2015年2月、オーストラリアで開催されている伝統的ツーリングカーレース「LIQUI MOLY BATHURST 12 HOUR」に参戦し、同チームのウォルフガング・ライプ、フロリアン・ストラウスと共に、日本人ドライバーとして初となる総合優勝の快挙を成し遂げる。2014年に引き続き参戦した「Blancpain Endurance Series」では、4月の開幕戦以降、過酷な欧州各国で

の転戦を耐え抜き、3戦目で総合優勝を果たす。そして、迎えたドイツ・ニュルブルクリンクでの最終戦で表彰台を勝ち取り、日本人ドライバーとして初めて、世界を舞台にしたツーリングカーシリーズの“シリーズチャンピオン”を獲得した。同時に、国内自動車レースのメジャーカテゴリである「Super GT GT300クラス」においても、「GAINER」チームのドライバーとして参戦しており、年間チームチャンピオンを獲得。日本人レーシングドライバーとして初の海外ツーリングカーシリーズのシリーズチャンピオンを獲得した功績と、2015年に、世界を舞台に最も活躍したレーシングドライバーの活躍を讃えて。

ちよ・かつまさ。1986年12月9日生まれ。2002年に15歳でカートレースデビュー後、2006年にNDDP (Nissan Drivers Development Program) のオーディションに参加し日産のスカラシップを獲得。翌年、FCJ (Formula Challenge Japan) に参戦、2008年にはシリーズランキング3位となった。2009年からは、全日本F3選手権Nクラスに出場する。参戦初年度はシリーズ6位、2010年には3位と実績を重ね、2011年にはシリーズチャンピオンに輝く。その実力が評価され、2012年より国内自動車レースのメジャーカテゴリである「Super GT GT300クラス」へNDDPドライバーとして参戦を果たす。ルーキーながらシリーズ4位を獲得し、2013年も引き続き「Super GT」へ参戦。2014年からはヨーロッパを主戦場とし、2015年に「LIQUI MOLY BATHURST 12 HOUR」で総合優勝、また、参戦2年目となる「Blancpain Endurance Series」でシリーズドライバーズチャンピオンに輝いた。

